

## 令和7年度 第1回 岸和田市観光振興計画推進委員会

- 1 日時 令和7年6月18日(水) 午後3時～午後5時
- 2 場所 岸和田だんじり会館1階会議室
- 3 出席者
  - 【学識経験者】石田信博、徳山美津恵
  - 【公共的団体の代表者】阪口寿子、西村令子、中井秀樹、山本義治、藤浪勝三
  - 【関係団体の代表者】塩見正成、田邊真、上田貴司、杉田精教
  - 【オブザーバー】藤井健一、古岩沙紀
  - 【欠席者】佐野楓、西崎玲圭
  - 【事務局】船橋魅力創造部長、井上観光課長、有留担当主幹、西村担当長、甲地主査、藪内担当員、出口担当員
  - 【傍聴者】 1名

### 次第

- 1 開 会
  - (1) 部長挨拶
- 2 議 事
  - (1) 令和6年度本市の入込数について
  - (2) 令和7年度実施事業について
  - (3) 委員会スケジュールについて
  - (4) その他
- 3 閉 会

### 配布資料

- 次第
- 配席図(資料①)
- 観光振興計画推進委員会委員名簿(資料②)
- 観光客入込数(資料③)
- 令和7年度実施事業について(資料④)
- 意見聴取シート取りまとめ(資料④-1)
- 令和7年度観光振興計画推進委員会スケジュール(資料⑤)

## 1 開会

### (1) 部長挨拶

## 2 議事

### (1) 令和6年度本市の入込数について

#### ●事務局

資料③をもとに、令和6年度本市の入込数について報告。

#### ●副委員長

だんじり祭の入込数について、H22～24の人数が多いがR6年度の入込数はどう考えるか。

#### ●事務局

入込数については、人流データや駅乗降者数をもとに統計を取る集計方法に変更した。今年度はさらなる増加が見込まれると考える。

#### ●副委員長

観光客数だけでなく、観光消費額を意識してもよいと考える。

#### ●委員長

だんじり祭の入込数の記載は9月と10月の合計か。

#### ●事務局

9月の岸和田・春木の合計である。

#### ●委員 (E)

ボランティアガイドでの案内をしている際、昼間に観光交流センターへ行くと市の職員が昼食で使用しているが、それもカウントされているのか。市職員が使用することで観光客が利用できない状況が見受けられる。

#### ●事務局

指定管理者がカウンターによる集計をしているため、市職員も含んでいる。指定管理者から

も意見いただいているので、庁内にも周知をしている。

●委員（C）

先日の岸和田城ウェディングはどうだったか。

●事務局

天候にも恵まれ実施できた。改めて岸和田城ウェディングについての周知に努めたいと考えており、本市の SNS や広報誌等による写真の利用について調整している。

（2）令和7年度実施事業について

●事務局

資料④及び④-1をもとに、基本方針ごとにシートの説明と、それに対する事前の意見と回答をご報告

① 基本方針1のプロモーション強化を報告（シート1～5）

●委員（F）

万博が始まって1/3が過ぎようとしている。万博における大阪府全体の取組みとして、大阪ウィークがある。5・7・9月と3回あり、大阪府と観光局はパビリオンだけでなく、大阪ウィークのようなイベントに目が行くような取組みを考え、各自治体にも参画いただいている。しかし、イベントプログラムのパンフレット内の岸和田市がすべて調整中となっている。自治体によっては窓口が観光セクションでない自治体もあると伺っているが、万博という大きな機会において、調整中であることでプロモーションができていない。このような機会を逃すことは非常にもったいない。イベント広報誌も今後更新されると聞いているので、その際にはぜひ具体の掲載が出来ればと考える。

●事務局

新たな媒体についても情報もなかったもので、今後も情報があれば共有いただきたい。合わせてビューローと連携して、万博期間中に泉州地域に来ていただくような事業も検討している。本市観光課として今現在取り組めることに取り組みたい。

●副委員長

シート1のSNSの利用者数に関して、LINEの登録者数が非常に多いがこれはなぜか。

●事務局

コロナワクチン接種のタイミングにより、登録者が増加したものとする。R7.4 よりプッシュ通知ができると聞いているので、観光情報の発信をしたい。

●副委員長

ぜひ LINE を活用いただきたい。SNS 発信についての研究論文を確認した際に、堺市が成功事例としてあり、フォロワー数も多く発信力もある。戦略的にインスタ等も活用することで効果的な発信ができると考える。

② 基本方針2の観光コンテンツの強化を報告（シート6～9）

●委員（C）

自転車での周遊について泉州一体での事業を会議所でも行ったが、サイクルルートの整備が進んでおらず危険であることが課題であった。そういった課題を踏まえて実施いただきたい。

●事務局

事業実施については、参加者に対しての周知を努めて参る。昨年度実施の際は、本事業に参画いただいた地域の事業者様からも良かったという意見が多かった。

●委員（C）

スポット等の課題もあるが、将来性のある事業と考えるため、ぜひ取り組んでいただきたい。

●委員（E）

道路整備が進んでいない本市において、本事業を推進することについてどう考えるか。

●事務局

安全であるスポットを選定して取り組んでいくとともに、参加者に対しての啓発も行って参りたい。

●委員（D）

岸和田といえばだんじりということを積極的に出すべき。このような素晴らしい観光資源がある中でもっと活用すべきである。

●事務局

今年度実施予定のなんばでのプロモーションについては、8月末から9月にかけての実施を検討しており、だんじり祭に興味がない方に対しても祭礼に来ていただくプロモーションを検討している。

●委員 (D)

だんじり祭の認識を変えて、今後事業展開いただきたい。

●委員長

二次交通について、交通弱者と言われる方に対しての観光施策の検討もしてはどうかと考える。

●事務局

庁内関係課と連携して、交通弱者に対しての観光施策も検討して参りたい。

③ 基本方針3の受入体制の整備・充実を報告 (シート 10~12)

●委員 (D)

次世代へのだんじり文化の継承について、だんじり絵画について何度か提案しており、検討いただきたい。

●委員 (F)

市民や民間事業者等と一体で観光振興に取り組むことは非常に重要である。ただ機運醸成をすると記載することは簡単であるが、例えば桃のバスツアーにおける数値目標も岸和田への年間入込数から考慮すると消極的に映るため、民間事業者の力を借りて、例えば参加者にふるさと納税で桃を購入していただくなど、ツアーを実施することが目的ではなく、ツアーを手段に様々な施策等を考える必要がある。そういった施策を検討するにあたり地域の事業者と意見を交わしていく機運を醸成することが重要である。

●事務局

ふるさと納税の案内について今年度対応できればしたい。本ツアーに限らず様々な事業者様がいろんなアイデアや考えをもっており、様々な繋がりもある。本市の役割として、そういった民間事業者様の想いを汲み取り、活かしていくためにはどうしたら良いかを検討している。数値目標についても、過去具体的な調査を行っておらず、来年度はより詳細な調査

分析を実施することから、今年度においては地域の方とともに取り組むことに重きを置きたい。調査につきましてもどういった調査をすればいいかを検討しているため、2回目の委員会においては委員の皆様方からのご意見も頂戴したい。

●委員（I）

ふるさと納税で桃があるということの告知だけでは、購買意欲に繋がらない。その場で桃の試食や提供することで集客に繋がると考える。

●委員（B）

桃のバスツアーは岸和田市主催事業か。事業者に働きかけることで他のことも実施できるのか。

●事務局

計画に基づく本市主催事業である。すべてができるというわけではないが、本件は食というコンテンツ造成の観点より事業者様に協力をいただいている。

●委員長

資料④-1 にもあるように、だんじり会館は展示に限らず、歴史や文化の調査研究のための体制等が必要と考える。

### （3）委員会スケジュールについて

●事務局

資料⑤の説明。

（意見なし）

### （4）その他

（意見なし）

●委員長

・本日の推進委員会を閉会する。